

new

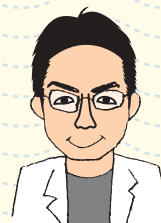
今号の内容

当院では病院の1Fフロアで「FON」の無料インターネット接続サービスが利用できます。ご希望の方は医事課までお問い合わせください。

- 脳ドックで脳の健康を守ろう！
- 脳動脈瘤に対するコイル塞栓術治療について
- 頸動脈エコー検査とは
- リハビリ部通信 歩行補助具(杖)について
- 委員会紹介 感染対策委員会
- 医療安全研修会報告

脳ドックで脳の健康を守ろう！

副院長・脳神経内科主任部長 野村栄一



脳ドックは日本固有のシステムだそうです、かつて脳卒中が「日本の国民病」であった時代もあるためか、全国に普及し、その認知度も高いように思います。この脳ドックについて、「医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師などのメディカルスタッフが一堂に会し、無症候性病変の検出や脳神経疾患の早期診断に関する研究成果を発表、討論を行い、脳を侵す病から脳を守ることを目的とした」学会である「第21回日本脳ドック学会」

が広島市で6/15-16に開催されました（会長 松本昌泰広島大学大学院脳神経内科学教授）。当院からは、私が「脳ドックで新たな微小脳出血が発見された症例の検討」を発表し、頸動脈の動脈硬化をチェックするのに最適な頸動脈超音波検査の「ハンズオンセミナー」の

講師を「まつおか内科脳神経内科」の松岡直輝先生と一緒に担当いたしました。脳ドックでは「脳卒中」と「認知症」に注目が集まっていますが、「脳腫瘍」、「てんかん」、「多発性硬化症などの炎症性中枢神経疾患」を早期に発見することも重要です。当院も日本脳ドック学会認定を受けていますが、脳神経外科、脳神経内科、放射線科のトリプルチェックを基本として、「丁寧な脳ドック」を心がけています（詳しくは当院のホームページをご参照ください）。受診をご希望の方は、是非お問い合わせください。



脳動脈瘤に対する コイル塞栓術治療について

副院長・脳神経外科部長 須山嘉雄

脳動脈瘤の治療については開頭クリッピング手術と、カテーテルを用いたコイル塞栓術といわれる方法があります（図1）。それぞれの方法にメリット、デメリットがあり、当院では患者様にとって適切と思われる方法を選択しています。

今回はコイル塞栓術に使われるコイルについてご説明いたします。

1) 現在使用されているコイルは、そのほとんどが離脱式コイルといわれるものです。コイルはデリバリーワイヤーというコイルを動脈瘤内に送り込むためのワイヤー（針金のようなもの）の先に接続されています。カテーテルの中に、このデリバリーワイヤーの先に付いたコイルをいれていき、動脈瘤にコイルが入ったら、手元にある装置で、このデリバリーワイヤーに電気を流したり、水圧をかけたりすることでコイルが離され、動脈瘤内にコイルだけが残るようになっていきます。

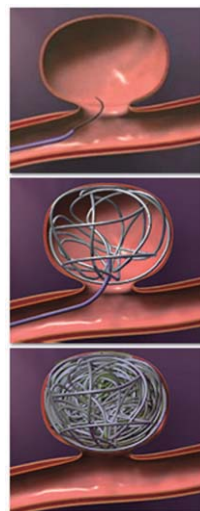


図1：動脈瘤内にコイルを入れているところ（模式図）



図2：コイルの種類

2) コイルの素材ですが、主なものは白金をベースに、タングステンなどを混ぜた合金でできています。形は2D（平面になるもの）、3D（立体になるもの）、線状のものがあります（図2）。非常に多くの種類が使用可能ですが、動脈瘤の形や大きさなどによってこれらを使い分けます。

3) 新しいコイル；次世代コイルとして、Matrix coil（マトリックスコイル）とHydroCoil（ハイドロコイル）というものがあります。これらはコイル塞栓術の欠点である、再発率が多い（約15-20%）ということを減

らすためにできたものです。Matrixは表面に癒着化（かさぶた）が起きるような物質を塗っています。一方、HydroCoilはコイル表面に吸水性ポリマーがコーティングしてあります。血液中で水分を含むことにより次第に膨隆してくることで、動脈瘤内に血液が入る場所をなくし、再発や破裂をしないようにします（図3）。



図3：次世代コイル (Matrix coilとHydroCoil)

頸動脈エコー検査とは

脳神経内科 櫛谷聡美

どんな検査なの？

超音波を用いて被曝や痛みなどの患者さんの負担なく、動脈硬化の状態や脳梗塞の原因となるような頸動脈（心臓から脳へ血液を送る血管）の狭窄などがないかを判断することができる検査です。

検査方法は？

ベッドに仰向けに寝て枕を外した状態で、首の部分にゼリーをつけたプローブをあてて検査をしていきます。検査時間は30分から1時間程度です。

何が分かるの？

1. 動脈硬化の有無

血管壁の厚さを測ることで、動脈硬化の有無や程度を判断することができます。

2. 血管の狭窄や閉塞の有無

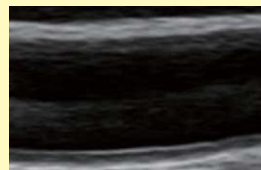
脳を栄養する血管が細くなって詰まりそうになっていないか、細くなっている場合にはその程度はどのくらいなのか、手術の適応があるのかなどを判断することができます。

3. プラークの有無

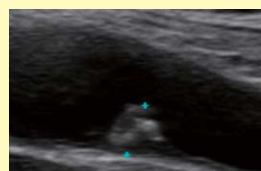
動脈硬化によって血管壁が厚くなり隆起している部分をプラークと呼びます。エコーではプラークの大きさや表面の形状、潰瘍形成や堅さなどを判断することができ、今後脳梗塞の原因となりやすいプラークかどうか確認することができます。

上記のように頸動脈エコーでは動脈硬化の程度や脳梗塞の原因となるような頸動脈の異常がないかを判断することができます。

興味がある方は主治医にご相談ください。



▲正常な頸動脈



▲プラークの存在する頸動脈



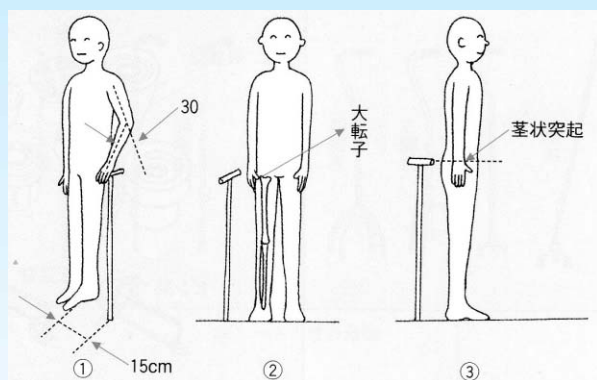
歩行補助具(杖)について

理学療法士 久木田 和道

杖と言ってもその役割や種類が多くどのような物を選んでよいかわからない経験はございませんか？

今回、長さの合わせ方を簡単に紹介したいと思います。

・長さの合わせ方は3種類あります。(普段の生活で履かれる履物で、原則として立位姿勢で合わせてください)



①

足の小指、外側約15cmところに突き、肘関節が約30度の角度になる長さ。

②

床面から足の付け根（大転子）までの長さ。
*大転子→足の外側（大腿部）で出っ張ったところ。

③

腕を垂直に降ろした姿勢（肘関節を伸ばした姿勢）で、床から手首（茎状突起）までの高さ。

*例外として、円背（身体が丸く曲がった姿勢）の方の場合、本人が疲れず、使い易いと感じる長さを選択して下さい。

<杖の点検も定期的>

杖を長年使用していると、滑らないように杖の支持を補助する杖先ゴムの磨り減りや劣化により、安定性が低下し転倒などの危険性が高くなります。杖そのものの点検もですが、杖先ゴムの点検も行い交換することも安全な歩行を行うことにとっても大切なことです。

*不明な点などございましたら、リハビリスタッフまでお気軽に声をかけてください。

委員会紹介 02

感染対策委員会

委員長 大下智彦

感染対策委員会は、「院内感染を防ぐこと」を目的にした委員会です。院内感染（医療関連感染）とは、「医療施設で患者や医療従事者が新たに感染症（肺炎や尿路感染、病原体としてはMRSA、インフルエンザ、ノロウイルスなど）にかかること」です（これに対して、医療施設以外で起こる感染は「市中感染」といいます）。患者さんがかかわる全ての職種に関係しますから、感染対策委員は多職種から構成されています。主な活動としては、院内感染の発症状況把握・周知、感染防止（手洗いそのほか）教育（職員研修）、抗菌薬・消毒薬使用状況調査、環境調査、行政への報告などを行い、月一回のミーティングにてこれらを検討しています。さらに、今年度からは他病院とも連携をとって病院群で感染症対策に取り組んでいく予定であり、より一層レベルアップして患者さんに貢献できるよう努力してまいります。



医療安全研修会報告

医療安全管理者・薬剤部部長 米澤久美

医療安全を院内に推進するため全職員を対象に研修会を毎年実施しています。今年度第1回目の研修会を6月18日と28日に開催しました。演題は「コミュニケーションエラー防止に向けて－誤薬を例に－」で、講師として第一三共（株）日本医業経営コンサルタント メディカルリスクマネージャーの服部 哲茂様に講演していただきました。

研修内容の選定理由は、日常業務の中でお互いの言葉不足や思い込みで「ハット！ヒヤリ！」した報告が多いからです。医療現場でのコミュニケーションの役割は大きく、不適切なコミュニケーションはエラーの要因になります。研修に参加したことが、コミュニケーションについて考えるきっかけになり業務に役立ち、事故報告の減少になることを期待します。



医療法人
翠清会

梶川病院

TEL 082-249-6411

FAX 082-244-7190

〒730-0046 広島市中区昭和町 8-20

<http://www.suiseikai.jp>

